

## 指定管理者が行う公の施設の管理状況全期間評価

施設所管部名： 健康福祉部

### 1 指定管理者の概要等

施設の名称及び所在	みえこどもの城 (松阪市立野町 1291 番地)
指定管理者の名称等	公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事長 太田 栄子 (松阪市立野町 1291 番地)
指定の期間	平成 23 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 3 月 31 日
指定管理者が行う管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みえこどもの城条例第 2 条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の施設および設備の利用の許可等に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の利用料金の収受等に関する業務</li> <li>・みえこどもの城の管理施設の維持管理及び修繕に関する業務</li> <li>・上記業務のほか、知事がみえこどもの城の管理上必要と認める業務</li> </ul>

### 2 管理業務の実施状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		施設の維持管理については、毎日、館内の点検を実施し、管理に努めるとともに、施設の清潔を維持するなど、管理・運営業務を適正に行った。 また、常に利用者の安全の観点から、緊急に必要な修理や改善を速やかに行ったことで、管理の瑕疵に起因する利用者の負傷等の事故はなかった。 以上のことなど概ね適切な管理業務が実施されたものと判断する。 さらに、平成 25 年度以降、指定管理料以外の収入が大幅に減少になったにもかかわらず、事業費支出を抑制し、収支状況の改善に努めていることは評価できる。
H24	B		
H25	A		
H26	A		
H27	A		

### 3 施設の利用状況

	指定管理者の自己評価	県の評価	全期間におけるコメント
H23	B		年間総利用者数の目標は 20 万人であるが、毎年度約 2 万人から 5 万人上回った。 20 万人の目標を達成したのは、各スペースを効果的に活用して事業を行ったこと、夏休み等の繁忙期向けのイベントを工夫したこと、さらに企業、団体、大学、地域等との協働により「地域協働大型イベント」が平成 26 年度から本格化したこと等が理由である。 以上のことから、施設は有効に利用されていたものと判断する。
H24	B		
H25	B		
H26	A		
H27	A		

### 4 管理業務に関する経費の収支状況(全期間)

収入の部		支出の部	
指定管理料	453,526,000	事業費	514,341,971
利用料金収入	68,766,260	管理費	245,652,641
その他の収入	239,282,364	その他の支出	0
合計 (a)	761,574,624	合計 (b)	759,994,612
収支差額 (a)-(b)	1,580,012		

参考

利用料金減免額	3,665,100
---------	-----------

## 5 成果目標及びその実績

	指定管理者 の自己評価	県 の 評 価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標 項目		H23 実績値	H24 実績値	H25 実績値	H26 実績値	H27 実績値
H23	A	-	年間 総利用者数	目標値	200,000 人				
				実績値	235,551 人	222,820 人	220,626 人	226,711 人	250,152 人
			移動児童館の 実施回数	目標値	80 件以上	80 件以上	-	-	-
				実績値	115 件	103 件	-	-	-
			地域協働事業 実施件数	目標値	15 件以上	15 件以上	-	-	-
				実績値	34 件	36 件	-	-	-
			移動児童館の 実施回数と 地域協働事業 実施件数の 合計	目標値	-	-	80 件以上	80 件以上	80 件以上
				実績値	-	-	85 件	80 件	81 件
			利用者の 満足度	目標値	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上
				実績値	82.4%	79.4%	84.7%	80.47%	85.37%
H24	A	-	イベントホール 企画数	目標値	9 企画	9 企画	8 企画	8 企画	8 企画
				実績値	9 企画	8 企画	14 企画	10 企画	8 企画
			イベントホール 利用者数	目標値	40,000 人	40,000 人	35,000 人	35,000 人	35,000 人
				実績値	60,358 人	40,449 人	61,744 人	81,562 人	88,021 人
			舞台スペース 企画数	目標値	50 企画	50 企画	40 企画	40 企画	40 企画
				実績値	73 企画	71 企画	41 企画	46 企画	46 企画
			舞台スペース 利用者数	目標値	24,000 人	24,000 人	20,000 人	25,000 人	25,000 人
				実績値	23,700 人	26,245 人	33,863 人	33,621 人	37,930 人
			サイエンスルーム 企画数	目標値	60 企画	60 企画	40 企画	40 企画	40 企画
				実績値	98 企画	91 企画	43 企画	42 企画	32 企画
			サイエンスルーム 利用者数	目標値	10,000 人	10,000 人	7,000 人	6,000 人	6,000 人
				実績値	7,245 人	7,062 人	6,903 人	6,126 人	5,450 人
			アールスペース 企画数	目標値	100 企画	100 企画	80 企画	80 企画	80 企画
				実績値	99 企画	95 企画	79 企画	85 企画	82 企画

	指定管理者 の自己評価	県 の 評 価	全期間における成果目標及びその実績						
			成果目標 項目	H23 実績値	H24 実績値	H25 実績値	H26 実績値	H27 実績値	
H25	A	-	アールスペース 利用者数	目標値	15,000 人	15,000 人	12,000 人	12,000 人	12,000 人
				実績値	13,715 人	12,480 人	13,362 人	14,325 人	18,116 人
			プレイランド 利用者数	目標値	45,000 人	45,000 人	45,000 人	40,000 人	40,000 人
				実績値	49,869 人	52,918 人	41,874 人	44,316 人	52,994 人
			プレイルーム 利用者数	目標値	18,000 人	18,000 人	18,000 人	20,000 人	20,000 人
				実績値	19,892 人	20,673 人	22,745 人	22,690 人	25,038 人
			ドームシアター 利用者数	目標値	25,000 人				
				実績値	37,544 人	32,774 人	24,211 人	31,854 人	28,657 人
			レストハウス 利用者数	目標値	3,000 人	3,000 人	2,000 人	1,000 人	1,000 人
				実績値	3,093 人	865 人	1,604 人	1,323 人	694 人
			研修室 利用者数	目標値	10,000 人	10,000 人	6,000 人	6,000 人	6,000 人
				実績値	4,404 人	5,553 人	7,331 人	5,251 人	11,253 人
団体 利用件数	目標値	210 件 以上	210 件 以上	210 件 以上	210 件 以上	210 件 以上			
	実績値	227 件	210 件	185 件	186 件	199 件			
H26	A	-	ボランティア 登録者数	目標値	50 人	50 人	50 人	50 人	55 人
				実績値	56 人	61 人	109 人	129 人	179 人
			広報活動 掲載数	目標値	250 件 以上	250 件 以上	250 件 以上	200 件 以上	250 件 以上
				実績値	252 件	208 件	172 件	142 件	250 件
			ホームページ アクセス数	目標値	100,000 件 以上	100,000 件 以上	100,000 件 以上	100,000 件 以上	110,000 件 以上
				実績値	122,699 件	116,095 件	135,180 件	163,414 件	187,547 件
			野外企画数	目標値	5 企画	5 企画	-	-	-
				実績値	5 企画	2 企画	-	-	-
H27	A	-	野外企画 利用者数	目標値	150 人	150 人	-	-	-
				実績値	200 人	194 人	-	-	-
			館周辺野外企画 利用者数	目標値	3,000 人	-	-	-	-
				実績値	11,163 人	-	-	-	-
			講師・指導者等 登録者数	目標値	110 人	110 人	-	-	-
				実績値	136 人	150 人	-	-	-

## 全期間におけるコメント

県が指定管理者公募に際して示した3つの成果目標(年間総利用者数、移動児童館等の実施回数、利用者の満足度)については、毎年度全て達成した。

平成 25 年度に指定管理料以外の収入が大幅に減少になったことに対応するため、事業及び個別の目標値を見直したものの、引き続き年間総利用者数が年 20 万人を突破するなど、全体としては概ね順調に実施していると判断する。

また、平成 27 年度には、年間総利用者数について過去最高を記録したことは、優れた成果として評価できる。

## 6 総括評価

平成 22 年度までの指定管理者であった経験を生かし、みえこどもの城の管理を順調かつ適正に行い、施設も有効に活用している。

まず、施設の管理業務の実施状況では、毎年度県が実施したモニタリングにおいて、人員体制や維持管理等が適正であることが確認できていた。年度を経るごとに、光熱水費やコピー代の縮減、設備の点検を強化するなど、取組を向上させてきた。特に、平成 25 年度以降、指定管理料以外の収入が大幅に減少になったにもかかわらず、事業費支出を抑制し収支状況の改善に努めていることは評価できる。

次に、県が指定管理者の公募に際して示した3つの成果目標(年間総利用者数、移動児童館等の実施回数、利用者の満足度)については、毎年度すべて達成しており、評価できる。さらに、平成 27 年度には、年間総利用者数について過去最高を記録したことは、優れた成果として評価できる。

また、高い企画力で特色ある取組を増やしており、特に、企業、団体、大学、地域等との協働による「地域協働大型イベント」を実施することで、サービス内容の多様化や、子どもと大人との交流の機会を提供したことも評価できる。

今後も、利用者の声を、アンケート等を通して把握し、企画内容の充実や情報の発信に生かすなど、成果目標の達成に向けてさらに尽力されたい。

今回評価を行った第2期(平成 23～27 年度)では、みえこどもの城の各スペースについて、企画数や利用者数により成果目標を設定していたが、スペースごとの役割・目的に沿った事業になる傾向があったため、第3期(平成 28～32 年度)では企画の効果を高めるために複数のスペースを柔軟に使う発想に切り替え、回廊なども活用していくこととしている。

指定管理者は、保有するノウハウを生かした創意工夫と不断の努力により、コストを縮減する一方で、来館者へのサービス・アピールを向上させてきた。第2期全体では黒字を計上し、さらに平成 27 年度には初めて来館者数が 25 万人を超えるなど、順調に運営してきたものと評価できる。

以上のことから、みえこどもの城の指定管理者として適切に管理・運営を行っているとは評価する。

「2 管理業務の実施状況」の自己評価 :	「A」	業務計画を順調に実施し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	業務計画を順調に実施している。
	「C」	業務計画を十分には実施できていない。
	「D」	業務計画の実施に向けて、大きな改善を要する。
「3 施設の利用状況」	「A」	当初の目標を達成し、特に優れた実績を上げている。
	「B」	当初の目標を達成している。
「5 成果目標及びその実績」の自己評価 :	「C」	当初の目標を十分には達成できていない。
	「D」	当初の目標を達成できず、大きな改善を要する。
県の評価 :	「+」(プラス)	指定管理者の自己評価に比べて高く評価する。
	「-」(マイナス)	指定管理者の自己評価に比べて低く評価する。
	「 」(空白)	指定管理者の自己評価と概ね同じ評価とする。